

平成 29 年 3 月 5 日

## 平成 29 年度総会と講演会／「興味深い蝶の話」

### 1. 総会

平成 29 年度の総会と講演会／平川会員による「興味深い蝶の話」が昨年まで会場として利用されていた JR つくし荘から場所を博多サンヒルズホテルに移し、開催されました。

石橋会長の平成 28 年度の事業実績の報告に始まって、一年目の 4 名の新理事・監事の新しい観点での改正事項などの議題が審議され、活発な総会となりました。最後は 100 行事、5,000 人の参加者の達成を目標にしたスローガンを唱和し、講演会に移りました。

### 2. 講演会

今日の講演は平川会員による知識・遊び心・夢中になることの 3 点の視点から生き物、特に蝶の生態についてでした。

最初、クイズ形式で「桜の開花宣言に何故ソメイヨシノが利用されるのか」が問いかけられ、「ウーン」と会場が静まりかかった頃に「クローンだからですよ」との回答で会場は盛り上がりました。まるで TV の林先生の授業を受けているような感じでスタートしました。

その後、「セミの初鳴きの順番?」、「カシ類の北限?」、「生き物の分布は温暖化より人の仕業が大きな影響を与えている?」など小学校の児童に戻った気分になった後、本題である興味深い蝶の話へ移ってゆきました。

たくさんのお話をされたかったのですが、時間も限られていることもあり、ギフチョウ、ミドリシジミ、ムラサキシジミに絞って、その蝶の美しさ、生態などの話がありました。特に、ギフチョウはスプリング・エフェメラルの時期に目覚めるツキノワグマと分布が同じという話、ミドリムシの生息環境からカシワの自生を九州大学の先生に意見を通した話、私達の身近にある照葉樹林に生息しているムラサキシジミの話など、直ぐにでも捕虫網を片手に飛び出して行きたくなるような話ばかりでした。今日の講演で学んだことは「大人になっても興味あることに夢中になる」ことかな。



### 3. 懇親会

藤井会員の乾杯の後、椅子席がよかったのか以前にも増して会員の交流がなされ、お酒の追加が各テーブルで聞こえて来ました。盛り上がった会も 18 時で終了し、皆さん帰路に着きました。

以上